

連携医療機関のご紹介

脳神経センター阿賀野病院 院長 近藤 浩先生

当院は、昭和49年11月に五頭山麓の緑豊かな地に開院し、今年で46年となります。パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症など、さまざまな神経難病を主な診療対象としており、入院患者さんの9割以上は難病認定を受けておられます。

脳神経内科専門医による専門的医療を提供するとともに、適切なリハビリを実施し、身体機能の維持・向上を図るほか、病気や障害を持った方々に、少しでも心地よい療養環境を提供できるよう努力しています。当院の診療機能は神経疾患に特化しており、専門外の医療に関しましては、あがの市民病院のお世話になっており、厚く御礼申し上げます。今後ご支援、ご協力をいただけますようよろしくお願い申し上げます。



介護老人保健施設 阿賀の庄 青木賢樹施設長

当施設は、平成9年（1997年4月18日）に阿賀野市保田の地で開設し、今年で23年目に入りました。当施設は、入所者は96名、通所リハビリテーション（デイ・ケア）20名と合わせて運営させていただいております。阿賀野市での入院施設のある病院は、あがの市民病院と脳神経センター阿賀野病院しかなく、あがの市民病院には、日頃の診療において、入所者の治療等について、いつも快く受け入れていただき、大変感謝しております。貴院においては阿賀野市の医療の中心的役割を担い、救急医療、急性期・慢性期の疾患管理も引き受けていただいております。その重責を担ってられる貴院の医師、看護師、パラメディカルの方々の日々の奮闘に頭が下がる思いです。何卒、今後ともご協力の程宜しく願いいたします。さて当施設は、65歳以上で介護度1以上の方々の自宅復帰を目指して開設された施設ですが、近年入所期間が長期に渡る事が多くなってきております。その分重症者も多くなり、内服薬の処方・管理から、床ずれの対応、痰の吸引、経管栄養、インシュリン注射が必要な方も入所されており、何かあったときは、施設内でも点滴や抗菌剤の点滴なども行っております。病院から自宅復帰へのリハビリテーションを中心に、入所者の日常生活動作の改善、向上などを当施設の目的として、職員一同日々奮闘しているところです。今後も、あがの市民病院から自宅退院を希望されているけれども、自宅へ帰るには今一つ何らかの障害がある方々には、当施設が病院と自宅の間に入り、お役に立てることを希望して、この紹介文を終わりたいと思います。御精読ありがとうございました。



あがの市民病院

スワンだより



当院の感染対策について

- ◆発熱外来の設置
発熱や呼吸器症状のある方は自動受付を行わず、直接窓口で受付を行っています。そこで検温、新型コロナウイルス感染症のために作成した問診票にてスクリーニングを行い、発熱外来へ誘導し待機していただいております。診察も検体採取も発熱外来で行い、他の患者さんと交差しないようにしています。
- ◆環境整備
新型コロナウイルスは環境にも数時間から数日生存していると言われています。当院では院内の環境整備を徹底しています。
- ◆職員の対策
毎日の体温測定、健康状態の把握、アルコール手指消毒の徹底を行っています。感染防止のため个人防护具（手袋・ガウン・エプロン・マスク・フェイスシールド・キャップ）の適切な着脱の訓練を定期的実施しています。
- ◆面会禁止
感染防止のため面会を禁止しています。（面会できる方を制限させていただきます）
- ◆外来を受診される方へ
受診される際はマスクの着用とアルコール手指消毒薬による手指衛生の徹底をお願いいたします。

正面入口にサーモグラフィを設置しました



ICT（感染対策チーム）は写真撮影のときもソーシャルディスタンス！



あがの市民病院

〒959-2093
新潟県阿賀野市岡山町13-23 代表 ☎0250(62)2780
Eメールアドレス syomu@aganocity-hp.com
ホームページアドレス <http://www.city.agano.niigata.jp>



あがの市民病院

良質で心温まる医療を
地域の皆様へ

